

令和5年度版

おしらせ

飯舘村役場情報2023



飯舘村役場の各課・各係の
一覧を掲載します。業務
内容や連絡先をご確認く
ださい。

また4月1日付で人事
異動がありました。新年
度の体制についても併せ
てお知らせします。

15ページから18ページ
までを、広報から取り外
して使うことができます。
村内施設の情報もあ
ります。ぜひご利用くだ
さい。

P15~P18は広報から取り外してご利用ください。

福島県立医科大学保健科学部の村内実習について報告します

村は、令和4年2月に、福島県立医科大学と包括連携協定を締結しました。この協定は、村民の健康福祉に関する取り組みの推進を目的とし、実習場所や村への移動手段の提供などを通して、同大学の医療人材育成に協力するものです。村内実習の初年度となった令和4年度は、「いいたてホーム」で計10回、「いちばん館」で計2回の実習が実施され、村内の関係機関はもとより多くの村民の皆さんにもご参加・ご協力をいただきました。今年度を振り返り、同大学から届いたメッセージをお伝えします。

作業療法学科
曾根稔雅先生
福島県立医科大学保健科学部



福島県立医科大学保健科学部作業療法学科の1・2年生が、「いいたてホーム」と「いちばん館」で実習を行いました。

2年生は「いいたてホーム」において、新型コロナウイルス感染症の影響で、実施が困難な時期もありましたが、5月～12月の期間中に合計10回の実習を行いました。教員による作業療法場面の見学やレクリエーションの提供を通して、対象者への基本的な関わり方や作業療法評価について学びました。また、東日本大震災当時の取り組みなど、貴重な経験や教訓について施設の職員の方々からご教示いただきました。

1年生はレクリエーションを自ら企画・運営し、「いちばん館」で7月に2回の実習を行いました。サポートセンター「つながっぺ」の利用者や各地域の皆さんにご参加いただき、レクリエーションの活用方法やコミュニケーションスキルを学ぶことができました。

これらの実習は学生たちが学内で学んできたことを活かす機会となり、村民の皆さんとの交流を通して、多くのことを学ばせていただきました。また、私たち教員から見ても学生たちの成長が感じられる貴重な実習の場となりました。今後は、これらの実習場面以外でも、村民の皆さんと交流をさせていただく機会が増えてくることと思います。引き続きご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

東日本大震災による原発事故の影響から活動が制限された中、地域の方々のため医療・福祉を実践し続けた飯舘村の思いに深く感銘を受けました。福島地域医療を学ぶ上で飯舘村での実習は作業療法士の力を福島の未来にどう還元できるのかを考える機会となりました。



牛来桜子さん
2年生

飯舘村での実習を通して

今回の実習は私たち学生にとって初めての実習でした。本番では、予行練習で気が付かなかった改善点を多く得られただけでなく、参加者の方と一緒に楽しくレクリエーションを行えたことが嬉しかったです。この経験を活かし、より良い作業療法士を目指して頑張ります。



渡邊沙耶さん
1年生



「いいたてホーム」での臨床実習



「いちばん館」でのレクリエーション実習